

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	平成29年度第2回武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
開 催 日 時	平成30年1月26日(金) 午前9時～午前11時
開 催 場 所	市役所3階 301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：委員5名 欠席者：委員2名
議 題 等	<p>1 委員委嘱書の交付</p> <p>2 報告 第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の会議要旨について</p> <p>3 議題 (1) 副会長の選出について (2) 総合戦略掲載事業及び地方創生関連交付金活用事業の本推進委員会における評価等審議の進め方について (3) 平成29年度地方創生関連交付金活用事業について (4) 平成30年度スケジュールについて (5) その他</p>
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<p>議題1：副会長は森林委員に決定する。</p> <p>議題2：事務局提示の様式にて平成30年度以降の進行管理を進める。 基本目標ごとの目標達成の課題及び対応を記載する。</p> <p>議題3：審議経過記載のとおり、意見をいただいた。</p> <p>議題4：市民等アンケート設問についての意見は個別にいただく。</p> <p>議題5：特になし。</p>
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>1 委員委嘱書の交付 新任委員に委嘱書の交付を行った。</p> <p>2 報告 第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の会議要旨について (事務局) 資料1「平成29年度第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会会議録(要旨)」について説明</p> <p>3 議題 (1) 副会長の選出について (事務局) 副会長の選出については、設置要綱第4条第1項の規定により委員の互選で選任する旨を説明 (委員) 副会長に森林委員を推薦する。 —異議なし—</p> <p>(2) 総合戦略掲載事業及び地方創生関連交付金活用事業の本推進委員会における評価等審議の進め方について (事務局) 総合戦略掲載事業及び地方創生関連交付金活用事業(平成28年度地方創生拠点整備交付金及び平成29年度地方創生推進交付金活用事業)の評価等審議をする際の資料様式について説明 —質疑・意見等— (委員) KPIの目標値について、現在平成31年度のみ設定されているが、毎年度目標を設定して、その目標に達したかどうかを進捗状況として示した方が、課題及び対応がより分かりやすくな</p>

	<p>るのではないか。短期的な目標を設定した方が進行管理もしやすいし、施策も打ち出しやすいのではないか。</p> <p>(事務局) 事業によっては年によって数値がかなり変動するもの、最終年度のみ数値が生じるものがあるため、最終的な平成31年度の目標のみを設定する形となった。</p> <p>(委員) かたくりの湯施設整備事業(地方創生拠点整備交付金活用事業)のKPIの補足として、温泉施設への来場者数を捉えるのはよいと思うが、目標として「新たな人の流れをつくる」「域外からの来訪者の回遊性を高める」ことがあるので、域外の人がどれくらい来ているのかが捉えられるとよい。</p> <p>(事務局) 温泉施設の利用料金は市内外で異なるので、把握は可能である。今までの来場者数については、約3分の1が市内、約3分の2が市外からの方である。</p> <p>(委員) 温泉施設の収支がマイナスの要因は、来場者数が想定より少ないためか、想定外の出費が多いのか。</p> <p>(事務局) 両方考えられると思う。</p> <p>(委員) 温泉施設のリニューアルオープン後の指定管理者は決まっているのか。</p> <p>(事務局) オーエンスという事業者で、様々なスポーツ施設等の運営を行っている。温泉施設の運営を専門に行っているところではない。</p> <p>(委員) 総合戦略において、基本目標のKPIの設定と、掲載している主な事業の関連性があまりない部分があったかと思うが、対応はされているのか。</p> <p>(事務局) 現時点では直すことができない。</p> <p>(委員) 総合戦略の進行管理の資料について、事業ベースだけではなく、基本目標全体における取組や課題・対応は記載しないのか。記載した方が市としてのビジョンが見えやすいと思う。</p> <p>(事務局) 今までは記載していなかったが、事業の状況を見て全体として記載することは可能である。</p> <p>(委員) 本来であれば、全体の目標における課題・対応があって、事業を実施していくべきであると思う。</p> <p>(事務局) 基本目標における課題・対応も記載するようにする。</p> <p>(委員) 推進委員会の設置の趣旨、議論する内容については、総合戦略における個別事業の進行状況を検討しつつ、全体としても適切かどうかを見ることを目的としているということによいのか。</p> <p>(事務局) どこまで見ていただくかという細かい規定はないが、おっしゃるとおり全体として見ていただくとともに、個別事業についても御意見をいただきたい。推進委員会でいただいた意見を事業課に伝えて、参考にさせていただく。</p> <p>(委員) 事業の細かい部分の質問については、事業課は会議に参加していないのでその場で回答するのは難しいかと思うが。</p> <p>(事務局) 今までどおり事務局から回答する形になる。質問をいただいてその場で回答できないものについては、後日回答する。</p> <p>(委員) 基本目標における目標達成の課題とその対応(計画)が入っていないと、全体の評価はできないと思うので、記載していただきたい。</p> <p>(3) 平成29年度地方創生関連交付金活用事業について</p> <p>(事務局) 資料3-1に基づいて、地方創生拠点整備交付金活用事業(村山温泉『かたくりの湯』施設整備事業)について説明。現在設定しているKPIについて、毎年度の数値の捕捉が困難であることから、KPIとしてどのような指標が適しているか、意見</p>
--	---

をいただきたい。事務局としては「温泉施設来場者数」「来場者の平均利用金額」「温泉施設のメディア露出数」などが指標となり得ると考えている。

—質疑・意見等—

- (委員) 温泉施設への来場目的(ランナーステーション、家族団らん、温泉効能など)を捕捉できると、営業上役立つのではないか。
- (事務局) アンケートをとることは可能である。KPIとしては、数値目標としたいので適さないかと思われる。
- (委員) 来場者の満足度調査をして、満足度を指標とするのがよいのではないか。温泉施設内でも温泉、プールなど施設ごとの満足度をとることで、かたくりの湯としての価値が分かる上に、価値を上げるために何をしたらよいのかという方策も立てられるのではないか。
- (事務局) 補足の指標としてはよいと思う。事業課に実施可能か確認する。
- (委員) 事業概要に「温泉施設を活用したソフト事業」とあるが、どのようなものか。
- (事務局) 次に説明する魅力づくり推進事業で実施するモニターツアーに組み込むことや、狭山丘陵の周辺自治体等(東村山市、東大和市、西武・狭山丘陵パートナーズ)で今年度実施している狭山丘陵観光連携事業における活用を想定している。平成28年度に実施した魅力づくり推進事業では、モニターツアーでかたくりの湯に行くプランを実施した。
- (委員) ソフト事業との相乗効果という視点から、今まで行っていた事業の参加者の増加、モニターツアーの応募者数の増加などが考えられるかと思う。参加者数は限定されるので、問い合わせ数や応募者数は指標になり得るか。参加者枠がどれくらいで埋まったかなどでも、魅力向上の指標になるかと思うが、ツアーの効果なのか、かたくりの湯がリニューアルしたことによる効果なのかが分からない。
- (事務局) 資料3-2に基づいて、地方創生推進交付金活用事業(武蔵村山の魅力づくり推進事業)について説明。現在設定しているKPIについて、毎年度の数値の捕捉が困難であることから、KPIとしてどのような指標が適しているか、意見をいただきたい。事務局としては「ツアー応募者数」「専用ホームページのアクセス数」などが指標となり得ると考えている。

—質疑・意見等—

- (委員) この事業は平成29年度のみの実施か。
- (事務局) 平成31年度までの予定である。ツアーも毎年度実施予定である。
- (委員) ツアー参加者の市内外の内訳は。
- (事務局) 昨年度実施した際には、市外の方が多かった。昨年度は立川駅と武蔵村山市役所を集合場所としていたが、今年度は立川駅のみを集合場所としている。
- (委員) 市外からの来訪者を増やすという視点から、市外からの応募者を増やすというのも指標となるかと思う。
- ムサブラアプリのダウンロード数は分かるか。
- (事務局) ダウンロード数は分かるが、アプリの提供が今年度いっぱい予定である。なぜ来年度以降提供しないのかは確認する。
- (委員) 既にKPIとして設定している『#MM教え隊』市以外からのSNS発信数というのは、どういう意味か。
- (事務局) 武蔵村山市役所が発信した分を除いたSNS発信数ということ

	<p>である。</p> <p>(委員) その発信のうち市外からの発信数というのは分かるか。</p> <p>(事務局) 分からないと思う。</p> <p>(委員) 発信している人は同じ人が多いのか。</p> <p>(事務局) 感覚的には同じ人が多いように思う。</p> <p>(委員) いろいろな人が発信することに意味があると思う。</p> <p>(委員) 「#MM教え隊」を付けているものだけカウントするのではなかなか増えないかもしれない。案内してくれた人や地域があったら、その名前をハッシュタグとして発信しているものもあるかもしれない。</p> <p>(委員) かたくりの湯施設整備事業と魅力づくり推進事業の両方のKPIに設定している民間消費額の目標値が、現況値より約200億円増えた額となっているが、1事業当たりということか。</p> <p>(事務局) 事業ごとの消費額の算出はできないので、地域全体の数値である。事業との関連性はあまりないかもしれない。</p> <p>(委員) 滞在人口はいかがか。</p> <p>(事務局) 滞在人口も市全体としての値である。事業で数値が異なるのは、事業の申請時期が異なり、平成29年2月にRESASの滞在人口のデータ入替えが行われたことによるものである。</p> <p>(委員) 滞在人口の「滞在」はどのような定義なのか。</p> <p>(事務局) 携帯電話の契約住所を出発地として、午後2時時点で武蔵村山市内にいる人を携帯電話のGPS機能を使って推計しているようである。</p> <p>(委員) 魅力マイスターや魅力教え隊の人数も指標になるのではないか。</p> <p>(事務局) 指標にできると思う。</p> <p>(委員) 研修会から魅力教え隊に何人なったかというのも指標になるかもしれない。</p> <p>ツアーに盛り込む必要があるが、農産物直売所や武蔵村山市の特産物が購入できる場所に寄って、特産物を紹介しつつ、買い物をしていただいて、ツアーの最後で何を買ったか、いくらぐらい使ったかアンケートをとって、ツアーにおける消費額を補足指標として入れてもよいのではないか。</p> <p>(事務局) 今年度のツアーでは、うどんとみかんを参加者にお土産として差し上げているので、ツアーの中でお金を使うところがなかった。</p> <p>(委員) 地域ブランド認定商品などを購入できる場所に寄って、利用金額を指標とする。</p> <p>(委員) 購入できる場所はあるのか。</p> <p>(事務局) 農産物直売所はあるが、ほとんどが無人であるので、売り上げを把握するのは難しい。あるとすれば、市役所近くのみどりっ子だが、農家からの仕入れの状況もあるので、ツアーに入れるのは難しいかもしれない。</p> <p>(委員) せっかくマイスターをやっているからといって、ツアーに関わるお店(うどん、お茶など)の売上げが、ツアーの実施によってどれくらい上がったなどの数字がとれば、効果が見えやすい。</p> <p>(事務局) 個別のお店の売上げを把握できない。</p> <p>(委員) 例えば、うどんの会全体としての売上げの把握などはしていないのか。</p> <p>(事務局) 聞いたことはない。</p> <p>(委員) 売上金額が難しいのであれば、先ほどの満足度調査のように、関係者を対象として、ツアー実施によって集客できているよう</p>
--	--

会議録の開示・ 非開示の別	■開 示 □一部開示(根拠法令等： □非開示(根拠法令等：
------------------	-------------------------------------

庶務担当課	企画財務部 企画政策課(内線：374)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)